

学校再編・小中一貫教育だより

温故創生

～ふるきをたずね、共に、新しきを生み出す～



行田市教育委員会教育総務課 発行

9月11日、埼玉県で初めて開校した義務教育学校である春日部市立江戸川小中学校を鈴木教育長をはじめとする教育委員会職員と北河原小、荒木小、須加小、見沼中のPTA会長で視察しました。今回の視察で得た情報を、見沼中学校区の義務教育学校の設置に向けて生かしていきます。

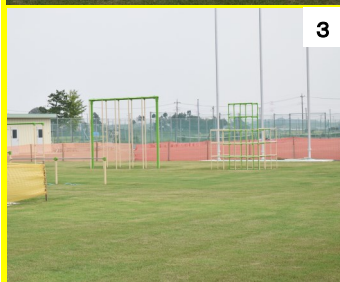
春日部市立江戸川小中学校

- 宝珠花小、富多小、江戸川中の3校を再編成し、平成31年4月1日に開校。
- 児童・生徒数：168人
※通学区域に関係なく市内のどこからでも就学を認める特認校制度を活用。
- 小学5年生～中学3年生が既存の校舎、小学1年生～4年生が新築した校舎で学校生活を送る。



校舎の中を 実際に見学しました！

小学1年生～4年生が学校生活を送る新校舎を中心に見学し、校長先生や春日部市教育委員会の担当の方にお話を伺いました。



1. 再編成したことで児童が増え、学習活動が豊かになり、教室に活気が出たとのことでした。教室にはエアコンが設置され、快適な学習環境で学んでいました。

2. 3. 4. 新校舎を一步出るとすぐに芝生の中庭があり、遊具（ジャングルジム、ブランコ、のぼり棒、うんてい、鉄棒）が設置されていました。※中学生は利用不可。小学生が活動するときには原則として中庭を利用しますが、部活動の妨げにならないければ校庭を利用することができます。昼休みなどの休憩時には、小学生と中学生が共に校庭を利用し、サッカーなどをして一緒に遊ぶこともあります。中学生は小学生に配慮しながら遊んでいるので、心配ないとのことでした。



5.「ほんのおへや」。普通の授業のみならず、学童保育室を利用する児童や下校時のスクールバスを待つときに活用しています。畳があるのが特徴。

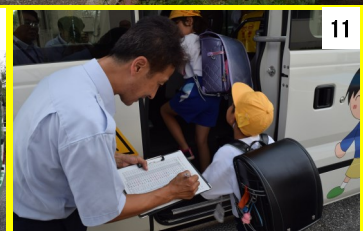
6.「ランチルーム」。学童保育室として、また、会議や集会を実施する際に利用されています。地域住民も利用することが可能です。



7. 8. トイレや手洗い場は、小学生が使用しやすい高さに設置されていました。

9. 10. 11. スクールバスはマイクロバス2台体制。2路線を4便（登校時1便、下校時3便）で運行しています。バス停までは、保護者が送迎しています。乗車する児童のチェックは運転士が行っていました。

※中学生は自転車通学



12. 3校の歴史を年表で掲示したり、校旗を展示したりした「メモリアルコーナー」。既存校舎と新校舎をつなぐ渡り廊下に設置され、閉校した学校の軌跡や歴史の継承に努めていました。

気になる!! 義務教育学校のことを他にも教えてください!

Q1 乗り入れ授業や教科担任制をどのように取り入れていますか?

小学5年生、6年生の理科・音楽・体育・外国語活動は、中学校の専門の教師が授業を行っています。教職員は、義務教育9年間のつながりを意識しながら指導するようになるとともに、子どもの発達段階の相違なども日々の学校生活で感じているようです。

Q2 小学生と共に学校生活を送る中学生の様子は?

小学生がいることで「下級生のお手本・リーダーとして」という自覚と責任を持って、学校生活に取り組んでいます。積極的に下級生と触れ合おうとする生徒も増えたようです。

Q3 学校行事や異年齢交流活動はどのように行っていますか?

活動内容によって、全校児童生徒で行うもの、1年生から6年生で行うもの、5年生から9年生で行うものなどさまざまなバリエーションで実施することができます。なお、運動会は全校児童生徒で行ったとのこと。小学生は頼りになる上級生がいることで、伸び伸びと競技や演技をすることができました。中学生は自覚をもって運動会に取り組んだことで達成感があった一方、これまでの競技がなくなったり、演技内容を変更したりすることになったため、物足りなさを感じる生徒もいたようです。

▼問い合わせ 教育総務課学校再編・小中一貫校推進担当 ☎556-8311
または学校教育課小中一貫教育推進担当 ☎556-8316

Eメール
gakkosaihen@city.gyoda.lg.jp